

Araldite® AW2101/Hardener HW2951

(アラルダイト® AW2101/ハードナー HW2951)

2液性エポキシ系速硬化接着剤

注意: アラルダイト®を安全に正しく使用するために、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をよく読んで下さい。本製品の取扱い説明書は捨てないで保管して下さい。使用上ご不明な点についてはお問い合わせのうえご使用下さい。

特徴

- 常温急速硬化タイプ
- 揺変性あるので、間隙充填可能
- 金属、セラミック、ゴム、硬質プラスチック等
- 種々の被着体に対する幅広い接着性

未硬化物の物性

	AW2101	HW2951
外観	白色	濃い灰色
粘度 (mPas)	揺変性ペースト	揺変性ペースト
密度 (g/ml)	約1.65	約1.9

混合物物性

配合比	AW2101 / HW2951
重量比	100:100
容量比	100:100
混合物粘度	揺変性ペースト
混合物密度 (g/ml)	約1.8
可使時間(25°C, 100g)	4-8分
混合物の外観	灰色

Araldite Structural Adhesives Technical Information

最低硬化条件

温度	10°C	15°C	23°C	40°C	60°C	80°C
最低	12 時間	4 時間	1時間	—	—	—
硬化時間	—	—	—	20 分	5 分	3 分

各温度における接着強度

硬化時間 23°Cx24時間

接着強度(N/mm²)

-60°C	15
-40°C	17
-20°C	18
0°C	20
20°C	19
40°C	17
60°C	12
80°C	8

各種の被着体に対する接着強度

硬化時間 23°Cx24時間

23°Cにて測定

各種金属に対する接着強度(N/mm²)

アルミニウム(Anticorodal-100B)	20
鉄(37.11)	25
ステンレスV4A	30
銅	24
真鍮	23

Araldite Structural Adhesives Technical Information

環境暴露後の接着強度

アルミニウム試験片を使用
 硬化時間 23°Cx24時間
 初期強度 20N/mm²

暴露条件	30日後の接着強度 (N/mm ²)	60日後の接着強度 (N/mm ²)	90日後の接着強度 (N/mm ²)
水浸漬 23°C	-	14	-
水浸漬 90°C	-	2	-
メタノール23°C	-	14	-
アセトン23°C	-	17	-
ガソリン23°C	-	17	-
酢酸エチル23°C	-	17	-
10%酢酸23°C	-	3	-
原油23°C	-	18	-
潤滑油23°C	-	24	-
潤滑油60°C	-	26	-

安全衛生

- 使用に際しては取り扱い説明書と安全衛生データシートを読んでからご使用下さい。
- 樹脂や硬化剤が皮膚に触れたり、目に入ったり、蒸気を吸引することのないよう、保護具の着用や換気をおすすめします。
- 万一、皮膚に付着した場合は石鹼水でよく洗ってください。
- 目に入った場合は流水に充分浸した後、眼科医の診断を受けてください。
- 詳しくは、弊社説明書「エポキシ樹脂使用者の為の安全衛生」等を参照してください。

®=登録商標

ここに記載された情報は、弊社が最善を尽くして得た知見に基づくものですが、弊社はその信頼性を必ずしも保障するものではなく、またその使用に基づく結果についても責任を負いかねます。弊社の製品を使用される際は、実際の用途・用法に応じた条件での安全性を確認の上、ご愛用くださいますようお願い申し上げます。

(AW2101/HW2951)

HAMJ / Apr. 2010(20220920)